

765 ライブシアター 公演記録

2018 年 7 月 28 日 P 公演

佐倉羽織



アイドルマスター ミリオンライブ シアターデイズ fan book



765ライブシアター 公演記録

2018年7月28日 13時公演

チームP 1st 「Princess Be Ambitious!!」公演」

本日のトピック

○矢吹のマイブーム詐称疑惑

○横山、豪快にすべる

アンダー情報

本日フルメンバー（ユニット、全体ポジはシャッフル後）

キャン待ち当選対内10人、対外18人

影アナ

田中「本日は756プロライブシアターにご来場いただきまして誠にありがとうございます。開演に先立ち、お客様にいくつかのお願いを申し上げます。開演中椅子の上に立つたり、ご自分の席を離れて前に駆け出したりしますと大変危険です。

また、やむを得ない場合を除き、公演中に席を立って移動する行為は他のお客様のご迷惑になりますのでおやめください。本公演の動画、静止画での撮影、及び録音等の行為は禁止させていただきます。ただいております。

携帯電話のご使用は進行の妨げになる場合がございますので、必ず電源をお切りください。

館内での飲食は禁止です。本公演は休憩時間がございますので公演中の喫煙所の使用もお断りさせていただきます。あらかじめご了承ください。

ペンライト、うちわ、メッセージボード等のご使用は両隣、それから後ろの席の方のご迷惑にならない範囲でお願いします」

田中「（一呼吸）みなさん、準備は出来てますか？」

（客席反応）

田中「先日は体調を崩してしまってお心配をおかけしました。まだちょっと喉が本調子ではないんですけど、体は元気なので。私推しの人も他のメンバー推しの皆さんも、いっしょに盛り上がってくれたら嬉しいですよ」

(客席反応)

田中「以上、ミリオンシアター、チームPrincess 田中琴葉でした。開演まで今しばらくお待ちください」

※ 13:02 開演

※ M01 MUSICI (各チーム共通) ` M02 Birth of Color ` M03 HOME, SWEET FRIENDSHIP

MC01

春日「みなさんこんにちは」

一同「ミリオンシアター、チームPrincess ぞぞ (客席に礼)」

春日「ミリオンシアター、チームPrincess『Princess Be Ambitious』公演』が始まりました。まず最初に、

MUSICI ` Birth of Color ぞぞ ` HOME, SWEET FRIENDSHIP の三曲を聴いていただきます。皆さんもあがってますか？」

(メンバー、客席歓声)

春日「ありがとうございます。それではお題に沿って一人ずつ自己紹介をさせていただきます。今日の話題は子供の頃の思い出です。(客席少しざわつき)まずはのり子さんからお願いします」

福田「はい、福田のり子です。よろしくお願ひします。えー、子供の頃の思い出でしょ？　こゝう見えてもめっちゃおしとやかだったの。(客席、おーと感心)あれ、反応が思ったの違う。もつと『えー？』とかかと思つた。まあ幼稚園とかの時ですけどね。だいぶ小さい頃。この間たまたま昔の写真を家族で見ってたんですけど、もうね、誰かの後ろに隠れている写真しかないのこれが。で、突然前に出てきて。さらには真面目に映つてないっていう。どうしてこうなった？　つておもうけど、おかげでね、こうやってみんなの前で公演できてるので。楽しいことにもいっぱい出会えたしね」

福田「と云うことで、Princess 全員揃つて、更に久しぶりの二回公演で。朝早いつて言うか昼だけけど、いつも以上に盛り上がる公演に行きましよう！　よろしくお願ひします」

田中「手を上げる」はい。高校三年生、18歳の田中琴葉です。よろしくお願ひします。先日は休演してしまつて申し訳ありませんでした。(観客反応)優しい。気をつけます、本当に。私、育ちちゃんぐらいの時までかな。ごっこ遊びが大好きで。おままごととかそう言うのじゃなくて。アニメとか

のドラマCDをお部屋に流しながら、お友達3人ぐらいと即興でなりきって。誰が何役とかも決めずに、その場のノリで役が被つても気にせず、お芝居の真似事とかをしてたんですよ。無駄に口パクで。その頃は何にも考えずにただただ楽しかったんですけど、こうしてアイドルになつて、お仕事でお芝居をさせていただくようになって、私考えすぎちゃうところがあるみたいで、スタッフさんに肩の力を抜いた方がいいよって言われることも多々あるので。あの頃のように何も考えずに、それでもきちんと素敵なお芝居が出来るように頑張りたいと思います。よろしくお願いします(礼)」

春日「はい、春日未来でーすうーう、いえい。ありがとうございます。あ、今日は初めましての方が多目かな。聞いてもいいですか？ 初めて劇場に来た人？ あれ、案外少ない。Princess公演初めての人。あー。そういう感じかあ。Princess好きになつて貰えると嬉しいです。で、なんだっけ。」

矢吹「子供の頃の思い出だよ」

春日「あ、そうだった。でも今でもまだ子供な気がしてるんですけどね。小学生の頃はTVで踊ってるアイドルのマネをして一緒に踊つてたりしたかなあ。中学に入つて部活が忙しくて、あんまりしなくなっちゃったんですけど、そのまま続けてたら、今超ダンスメンになつてたんじゃない

かなって思って」

福田「いやいや、無理でしょ」

春日「そうかな？ 案外いけると思うので、そのブランクを吹き飛ばして今日は？ 今日も？ 今日

もガンガン踊っていきたいと思います。みなさんも一緒に、明るく楽しく、声を出していきま
しょう！」

矢吹「はいっ。やつぶきかなー♪今日も歌うよやつぶきかなー♪今日も元気だ矢吹可奈あーあー♪。

一緒に歌っていただいてありがとうございます。なんかせんせいの。生誕
祭かな？」

春日「むしろ生誕祭の方が少なかつたりして」

矢吹「それはやだよ。皆さん来てくださいね、来月。日程まだわからないけど」

矢吹「可奈はね、そう。ずっと歌ってた。今みたいにその場で気持ちに歌うんじゃないけど、そ
の日習った歌で一番好きな歌をもうひたすらずっとね、繰り返し歌ってたんですよ。そうなの。
さつき未来ちゃんがずっと踊ってたからって言う話をしてたんですけど、私はずっと歌っていた
ので、誰よりも印象に残るように歌いたいと思います。はい。今日も♪私らしく元気に頑張
りまーす♪」

エミリー「ごヒイキ様方、こんにちは。エミリー・スチュアートと申します。よろしくお願いいたします。(深く礼)」

エミリー「私の子供の頃の話なのですが、まだ中学一年生ですし、深い歴史があるわけでは無いのですが、思い出に残っているのは家族で北海道へ行ったときに見た、紫の花の絨毯がとても記憶に残っています。ごヒイキの皆様方の心にも今日の特別な記憶が残りますよう、他の者と一緒に精進してまいりますので、ご声援のほどよろしくお願いいたします。ご清聴ありがとうございます(深く礼)」

エミリー「次は紗代子さんです」

(一列目、下手ハケ。二列目前に進む)

高山「高山紗代子、17歳です。小さい頃に外国に多分陸上の大会だったと思うんですけど。小さかったから曖昧ではあるんですけど、家族で見に行ったことがあるんですよ。外国って言うのも飛行機で行ったからっていうだけなんで、今思うと国内だったのかも知れないんですけど。でも子供だから、目の前でどんなにすごいことが行われてたかはわからないじゃないですか？ 何食べたかとかは割と憶えてるんですけど、全然試合の結果の記憶が無くて。もったいないですよ、その瞬間世界新記録とか出てかも知れないんですよ。でもきつとその時の記憶が、自分でも

わからないどこかにしまわれていて、それが熱い心のみなもとになっているのかあって、思いました。今日も小さい子が（ファミリー席に手を振る）来ていますが、私たちの公演が心のどこかの大切な種になったらいいなって、思っています。今日も一日よろしくお願いします」

佐竹「佐竹美奈子、18歳です。（歓声）ありがとうございます。皆さん小さい頃にお母さんやお父さんに作って貰ったご飯の味って憶えてますよね。自分の家だけの味ってありますよね。それが私ばうらやましくて。（実家が食堂なので）私の家の味はみんな知っているので。お友達の家とかにお呼ばれに行ったときにものすごく羨ましかったことがあります。なんか暗い話になっちゃった。はい、今日もわっほ〜い！ と盛り上がりましょう」

徳川「はいほー。徳川まつりでなのです。子供の頃の姫は、それはそれは可愛かったのですよ」

横山「自分、それ言って大丈夫なん？」

徳川「事実だからいいのですよ。お散歩にいったときに大きな湖があって、エメラルドグリーンに淡く光っていて、それをもう一度見たいって思っていたのです。（客席、ペンライトを付ける）わあ。多分今の方がきつと綺麗なのです。きょうもわんだほーな公演にして、今姫が感動した分をみんなにお返ししていくのですよ」

横山「まいど、横山奈緒です。ぱたぱたとライトが消えていく。いいのよ。イヤイヤつけなおさんと

いて。きりないからね。いろんなアイドルさんで同じ感じだと思っただけですけど、関西の出身だと期待値高いんですよみんな。おかげさまで私もね、笑って貰ってるんですけど。でもね、子供の頃は周りみんな大阪の子なんですよ何故か。そう、なんでかね。わかんないですけど」

横山「自分おもしろくないな、だめだなって思っただけ。こっち出てきてアイドルになっただけ、雑談してて普通にツッコミとかするじゃないですか。え？　しません？　わかる？　そうよね。まあね、私も面白くないなりに頑張っただけ、行きたいなど。はい。今日も大阪魂を忘れずに通天閣のように突き抜けます。おおきに」

横山「次は百合子。よろしくー」

(二列目、下手ハケ。三列目前に進む)

七尾「七尾百合子です。みなさんの予想通りだと思っただけ、もう小さい頃からおはなしを聞いたあとにこういう話なら、そこはこう言う世界なのかなとか、いまここであのお話と同じ事件が起きたらどうしようとかそういう事を想像してました。はい」

中谷「中谷育です。こんにち。挨拶大事だからね。わたしの子供の頃の話ですけど――」

松田「育ちゃんは最近の話でも大丈夫ですよ。ほらこの間の――」

中谷「(松田の方を見て口に一本指を添えて)亜利沙さん、いまはわたしの時間だよ」

松田「はっ、ごめんなさいごめんなさい」

中谷「失礼しました。わたしの子供の頃の話ですけど、わたしのおかあさんの作るお料理がものすごく美味しいの。しつてます？ あ、嘘ついちゃダメだよ。みんなしらないでしょう？ まだちっちゃいときにピクニックに行つて、目玉焼きの挟まったサンドイッチをたべただけけど、ものすごく美味しいの。わたし今は料理はとつても得意だから、今度ピクニックに行くときはわたしがつくつておかあさんに美味しいっていつてもらいたいと思つてます。はい、今日も元気に飛び跳ねます。よろしくお願いします」

高坂「高坂海美ですつ。(大歓声)お、今日すごい。いいよ、大好き。子供の頃だよ。どんな感じだったかなあ。いつもその瞬間が最高に楽しいからなあ。多分今と全く同じだったと思います。そんなわけで、今日も張り切つていきましようー」

松田「松田亜利沙、16歳です。ありさ、今日はきちんと言えましたよ。こないだの公演で名前言い忘れたのを、めっちゃファンの人に突つ込まれるんです、SNSとかで。コメントしてくれるのとっても嬉しいんですけどね。(一瞬視線をあげて戻す)ありさの子供の頃からのストーリーはそれは壮大なので、話し始めると30年ぐらいかかってしまいます(客席微笑)なので、いつか劇場版で、天海春香さん主演で」

高坂「それはないでしょ」

松田「願望ですよ。普通にファンなので」

松田「はい。本日の公演は以上13人でお送りします。みなさん、盛り上がる準備はできてますか？」

(4人、客席にマイクを向ける、客席から歓声)

松田「うーん。皆さん。ありさがそちにいたらもっと大きな声出せますよ？(大きめの声で)盛り上がる準備はできてますか？」

(歓声)

松田「推しメンの名前を呼ぶ準備は出来てますか！」

(歓声)

松田「全力で楽しむ準備はできていますかっ！」

(さらに大きな歓声)

松田「ありがとうございます。バッチリです。次は様々なユニットのコーナーです。どうぞ！」

(3人、足早に上手にハケる。暗転)

※MO5 ビッグバンズバリボー!!!

福田、田中、矢吹、エミリー

※ M06 透明なプロローグ

高山 BD 佐竹、徳川、横山、春日

※ M07 Episode: Tiara

七尾、中谷、高坂

※ M08 だってあなたはプリンセス

春日、松田

※ M09 アニマルステイション

徳川（ペンギン）、佐竹（ライオン）、横山（ゾウ）

BD 矢吹（イヌ）、福田（ネコ）

MC02

横山「ビッグバンズバリボー三三、透明なプロローグ、Episode: Tiara、だってあなたはプリンセス、そ

してアニマルステイション。五曲続けてきていただきました」

一同「いえーい」

横山「なんかね、みんなお姉さんだから。勢いがね、このあいだのお子ちゃまチームと比べてね」

佐竹「そう言うけど育ちゃんだけでしょ？」

福田「亜利沙が案外勢いいいのよ。案外っていったらアレだけど」

徳川「姫は全然元気なのですよ。汗もかいてないのです」

福田「まつりは代謝が悪すぎる」

徳川「ほ？」

横山「つていうか、(徳川を指さして) 衣装ミニすぎひん？」

佐竹「(中谷と) 衣装一緒だから」

福田「ビッグサイズ」

横山「わざわざ言いなおさんで。それぐらいわかるわっていうか、それだと丈が長いことになっちゃ
うから」

矢吹「身長違うのにちゃんとそれぞれに似合うのすごいよね」

福田「ミサキマジック」

横山「(福田を指さして) 何なん、自分英語ブーム？ まあいいです進めましょう」

福田「進めましょう」

佐竹「(自分を指さして) あ、私か。このMCではですね、最近のマイブームについて話していきたい
と思います」

横山「(福田を指さして) 英語」

福田「ちがうよ。(佐竹をみて) いい？ (佐竹うなづく) 私のマイブームは、山の空気を吸うこと」

佐竹「どっかで聞いた。麗花さんだ」

福田「アタシは足では登らないから。(と言いながらマイクを水平に持って回す仕草)」

矢吹「バイク？」

福田「そう、ツーリング」

矢吹「かっこいいなあ」

福田「可奈も免許とろうよ」

矢吹「え？ まだ14ですよお？」

福田「じゃだめ」

佐竹「そんな可奈ちゃんはどうぞですか？」

矢吹「歌は最近じゃないので。この間紗代子さんに連れられて食べに行きました。なんだっけ？」

横山「そのヒントでは難しいな」

矢吹「あのね、びょーんって伸びるの。楽しい奴」

徳川「チーズタッカルビ？」

矢吹「目を丸くして徳川を指さし」それ！ チーズカッタービ！」

横山「タッカルビな。カッタービだと疲れ気味になっちゃうから。っていうかまつりすごいやん。仕

込み？」

徳川「姫は奈緒ちゃんじゃないのでそんなことはしないのですよ？」

横山「いやいや、私もせえへんってそんなしょうもないこと」

福田「結構食べに行くの？」

(矢吹、マイクを持っていない方の手をさっと頭に当てて隠れているポーズ)

矢吹「縮こまりながら半笑いで」まだ行っていない……」

佐竹「え？ 一回だけ？」

(矢吹、半笑いのままうなずく)

横山「盛ったらだめですよ。それダメな奴ですよ」

矢吹「ちがうよ。ほんとにブームなの。行けてないだけ」

福田「えー？」

佐竹「まあまあ。本人がブームだって言うんだから信じましょうよ」

佐竹「というわけで、最近のマイブームについて話してきました」

横山「『Princess Be Ambitious』公演』まだまだ続きます。次はこの曲です。どうぞー」

(M09 メンバー上手にハケ、暗転)

※ M10 PRETTY DREAMER' M11 Starry Melody' M12 Princess Be Ambitious!!

MC3-A 福田、エミリー、七尾、春日、横山、松田

(福田、エミリー、七尾、春日、横山、松田を残して全員ハケる)

松田「PRETTY DREAMER' Starry Melody' そっし Princess Be Ambitious!! との曲続けて聞いていただきました！ 前半組は『もしアイドルになっていなかったら』について話していきたいと思います。聞かれてないですけど言っておきますね。ありさはアイドルになってなかったら今客席に座ってるか、もしくは立ち見席にいます(立ち見席に手を振る)。んーでは、未来ちゃん」

春日「私？ 部活そのままやってたかなあ。でも最終的にパン屋さんになりたかったかも」

松田「いいですよ、素晴らしいです。ザ・アイドルですよね」

春日「そうかな？ えへへ」

松田「のり子ちゃんはどうですか？」

福田「ケーキ屋さん」

松田「いやいや、ダメですよそう言うの。アイドルだからと言って許されるものでもないですよ。ダメです」

福田「なんでー！ 扱いが違うなあ。でもケーキ屋さん、なりたくなかった？ 幼稚園の頃とかさあ」

七尾「私は本屋さんですわ」

横山「そんな豚まんやんな。豚まんあるときー。(客席無反応)まって、なんでこんなに滑ってんの？

みんなしらんの？」

エミリー「しらないです」

横山「CM、見たことない？ ショックですよ、ショックですよ、この十年で一番ぐらいのショックですよ」

春日「ていうか豚まんってなんですかあ？」

横山「え？ そこなん？ 豚まんですよ？ 豚まん」

エミリー「肉まんのことですね」

春日「肉まんは知ってる。でもピザまんの方が美味しいと思う」

七尾「おまんじゅうだと不動のセンターのあんこが、中華まんだと存在感が薄くて悲劇の——」

松田「みなさん、ストップ、ストップですよ！ 今日中華まんの話じゃないです。ありさまアイドルちゃんが同じコンビニに売ってた肉まんを豚まんを食べ比べして話とかしたいですけど我慢してるんですから！」

横山「え、なにそれめっちゃきになるやん。おなじもんちゃうのん？」

福田「まとめようとしてるのか発散させようとしてるのか」

松田「まとめようとしてますつ。エミリーちゃんはどうですか？」

エミリー「私は日本の文化が好きなので、大学で研究がしたいです」

七尾「私も研究者になりたい。っていうか思ったんですけど」

横山「なにを？」

七尾「お題は『アイドルをやっていたら』じゃないですか」

横山「せやな」

七尾「でもみんなほぼ学生だから、まともに答えたら『学校に行って勉強してる』とかになっちゃうま

すよね。今行っていないわけじゃないですけど」

横山「あー」

七尾「なのでどうしても将来何になりたいかの話になっちゃうんですけど、それは別にアイドルやっ

たあとでも出来る事なのかなって」

横山「マジもののクレーム」

福田「大人の方々へのね。さあ亜利沙、これをまとめようか」

松田「ええええええええええええええええ……」

横山「マジもんの無茶振り」

松田「えええと。アイドルをやっても小さい頃の夢は叶えられそうなので、アイドルをやる分だけお
得だと、ありさは思います。えと、あの、(早口で、逃げるように下手にハケながら) 皆さんも機
会があったらアイドルになりましょう。(いったんハケた後もう一度戻ってきて) 次は後半組で
す」

(松田、再びハケる。前半組急いでそれに続く)

MC3-B 矢吹、田中、高山、中谷、高坂、徳川、佐竹

(足早に上手から登場)

高山「どういう締めなんでしょうか。さて。後半組は大人になったらどうしたいかについて話したい
と思います」

高坂「っていうか、まるで急遽お題変更したみたいな展開に」

高山「最初からこれでしたけどね。琴葉さん、なにかありますか?」

田中「大人って言うと行動に責任を持たないといけないと思うんですよ」

高坂「(客席に向かって) どうなの?(客席反応) あんまりそうでもない感じ(客席笑い)」

高山「心がけの問題だから」

田中「別に子供だから責任とらなくていいって言うわけでもないとは思ってんですけど、私たちは今、お仕事のことは責任持ってやってるけど、お仕事終わったら割と、割とね、学生なので」

高坂「でもさ、大人の人も楽しくやってそうだよ。お酒とかさ。このみちゃんとか楽しそうだし」

田中「うーん。メリハリなのかな」

高山「お姉さんがただじゃなくて、ウチの大人も割としっかりしてないと言うか」

田中「考えすぎなのかな」

高山「考えることはいいことだと思いますけどね。次は美奈子さん」

佐竹「私は素敵なお嫁さんになりたいなって思っています」

高山「でしょうね」

佐竹「素敵なお嫁さんって、家事が出来ればいい訳じゃないなって思っています」

高坂「意外」

佐竹「もつとなんだろ。世の中のことちゃんと知ってないとだめなのかなって。政治とか経済とか」
中谷「わかる！ わたしも小学生新聞全ページ読んでる！ 図書室も好き！」

高坂「そうなんだ。そんなものがこの世界にはあるんだね」

高山「小学生新聞？」

高坂「うん」

高山「ビックリした。図書室の方かと思った。まつりさんは？」

徳川「姫は大人になりたくないのです。姫はいつまでも可愛らしくありたいのです」

高山「いきなりの拒否。MCなんだから協力してくださいよ。『ほ？』『じゃありませんよ』『ほ？』『じゃ』」

高山「赤ちゃんはどう？」

中谷「わたしは髪を伸ばしたい！」

高坂「いやいや、短い方がいいよ絶対。私が言うのも何だけど」

中谷「シャンプーとかはわたし大丈夫！」

高山「お手入れとかもそうだけど、なんていうか、公演中とかにね。（髪の毛の先を持って動かしながら）こう、絡みついてくるんだよね。（客席反応）なんで皆さんわかるんですか？ 経験者じゃないでしよう？」

徳川「多分姫達のそういう所をいっぱい見てくれているからの同意だと思っておりますよ」

中谷「んーんーんー。わたしもみんなみたいになアアレンジしたいもん。短いと出来る髪型かぎられ

ちゃってつままない……」

高坂「なるほど。それはあるよね。私もそう思うかも」

佐竹「そうか。まあそれは大人の、事務所の人に相談しようか。育ちゃんが少し大人になるくらいで叶えられそうな話だし」

高山「そうね。相談しましょう」

中谷「はい」

高山「と言うわけで、後半組は大人になったらどうしたいかについて話してきました。次が最後の曲になります」

（客席から「えー」の声）

中谷「（手でバツテンを作って）だめー。もう終わりだよ」

（客席から再び「えー」の声）

高山「甘えは許しません（客席笑い）」

高山「最後の曲、聞いて下さい。合い言葉はスタートアップ」

※M13 合い言葉はスタートアップ／本篇終了

※ EC1 Growing Storm! EC2 Justice OR Voice

MC04

春日「アンコールありがとうございます」

一同「ありがとうございます」

春日「Growing Storm! Justice OR Voice。二曲続けて聞いていただきました。ここでメンバーに今日の公演の感想を聞いてみたいと思います。んーと、今日は百合子ちゃん」

七尾「七尾百合子です。今日は2回公演久しぶりなんですけど、昼公演からちよっとダンス頑張りすぎちゃって、ペース配分ヤバいんですけど、皆さん盛り上がってくださってとっても嬉しかったです。ありがとうございます」

春日「次が本当に最後の——」

（上手の舞台袖からスタッフ（多分受付の女性）が現れて、上手1列目端のエミリーに何かを伝えて手紙を渡す。春日、客席のざわつきとエミリーが目の前に差し出した手紙に気がつき言葉を止めて受け取る）

(メンバーオフマイクでざわつく)

高坂「(オンマイクで)なにになに? まって、こわいこわい」

春日「手紙が。(マイクをわきに抱えて封筒を開けようとしたあと、気がついてマイクをもう一度持ち直して)開けますね。(田中、春日のマイクを受け取り向ける)ありがとう。(封筒を開けて)読みますね」

春日「756プロライブシアター運営部よりお知らせです。昨年、2017年6月29日のこけら落とし公演をかわきりに、同10月のチームF公演、11月のチームA公演、そして12月のチームP公演と39プロジェクトのメンバーを3チームにわけての定期公演を定期開催させていただいております。おかげさまでご好評いただいているこれらの演目に加えまして、新たにメンバーを選抜し、チームシャッフル公演を行うことが決定しました」

(メンバー、悲鳴のような歓声。客席もざわつきと歓声)

高坂「え? どういうこと。チーム公演終わっちゃうの? 何にも聞いてないんだけど、これ」

高山「加えて、って言うことだから、3公演以外にもう一公演増えるって事じゃないかな」

春日「(手紙の二枚目にいれ変えながら)まだ続きがある。読みますね」

春日「新公演第一弾『Sunshine Rhythm』公演』の選抜メンバーをここで発表します。島原エレナ、エミ

リー、中谷育、横山奈緒、ロコ、木下ひなた、桜守歌織、矢吹可奈、百瀬莉緒、望月杏奈、福田のり子、佐竹美奈子、伊吹翼。以上13名となります。第二弾以降の選抜メンバーについては順次発表しますので、もうしばらくお待ちください。以上です」

（メンバーはみな驚いた顔で、何も言えない）

福田「えっと。あの」

福田「私たちもまだ何も聞いてないので、よく分かってはいないのですが。Princessから5人？ 6人か。13人中6人選ばれたと言うことで。他のチームから選ばれたメンバーとも一緒に、新しい公演を作っていくという事なので。えー。他のチームのいいところも吸収してまたチームに帰ってきたいと思えますし、Princessのいいところを他のチームにも持って帰って貰って、シアター全体がどんどん進化していく公演になったらいいなと思ってます」

（春日、いったん手紙を持って下手へにハケる）

横山「第一弾って言うことなんでね。今日呼ばれなかったメンバーもきつとどこかに選抜されるって言うことだと思おうので。末っ子Princessとしても飛躍のきっかけになる公演だと思おうので。（戻ってきた春日に）大丈夫？」

春日「はい。なんか皆さんもビックリしちゃうってる感じですけど。なんとまだ一曲あります！」

(客席「えー」の声)

横山「いやいや、おかしいおかしい。それ今言うところじゃないから」

(メンバー少し笑顔が戻ってくる)

春日「今、発表はありましたが、チーム Princess 結成からメンバーとファンの皆さんと一緒に色々乗り越えてきた絆がある限り、私たちはどこにいても Princess だと思います。そんな私たちの原点であるこの劇場のこと、チームの絆を忘れないために、この曲を歌いたいと思います」

春日「ココロが帰る場所」

※FC1 ココロが帰る場所(中谷、矢吹、歌いながら泣く、周りももらい泣き)

MC05

春日「本日はご来場いただきましてありがとうございます」

一同「ありがとうございました」

春日「このあとは感謝の気持ちを込めまして、ロビーにてお見送り会を行わせていただきます。参加ご希望の方は退出時にスタッフにお申し付けください。また、ロビーにてグッズを販売してい

ますので、本日来場の記念に是非お立ち寄りください」

(客席、「はい」の合いの手)

春日「それでは最後の挨拶をみんなでしましょう！」

メンバー、一列になり手をつないで一抔礼。

一同「ありがとうございました」

メンバーそれぞれ客席にレスを送りつつハケる。(15:20／上演時間2時間18分)

お見送り会

開始10分遅れ、全員参加

ライブアーカイブ追加コメント

出演…エミリー、中谷育、横山奈緒、矢吹可奈、福田のり子、佐竹美奈子

中谷「公演終わりましたーっ(絶叫)」

全員「いえーい」

横山「お昼公演と言うことで。育、久しぶりの（追加コメントへの）参加ですが。今日の公演はどうでしたか？」

中谷「今日はターンを綺麗にしようって思ってたんですけど。どうでしたか？（耳に手を当てて聞く

ポーズ）」

佐竹「できてたできてた」

横山「そして。今日は新公演とその選抜メンバーの発表がありました」

矢吹「ビックリした。泣いちゃった」

佐竹「私たちも何も聞いてなかったからびっくりしましたね」

横山「正直私たちもまだよく分かってへんけど。Princessからはこのメンバーで頑張ります」

横山「というわけで、横山奈緒と」

福田「福田のり子と」

佐竹「佐竹美奈子と」

エミリー「（矢吹の視線に気がついて）え？ あ、エミリーです」

矢吹「矢吹加奈とー」

中谷「中谷育でしたー。せーの」

全員「またねー」

福田「明日は休館日ー（メンバー笑い）」

横山「その次は翼の生誕ですよ。みんなきてな（福田佐竹、Angelic Parade ♪の振りコピ）」

中谷「その前に夜公演もちゃんと見てね」

感想

最初にお詫びを。通常は終演後に速報を、ライブアーカイブ公開後に正式版を公開している当レポですが、この回と夜公演については速報を公開できませんでした。

今日目についたのは春日。春日は歌っているときの表情が本当によくなくて、チームセンターとしてのオーラも出てきた。そういう意味では既に「これから」ではなくて「今」が既に楽しいメンバーなのかも知れない。

と言ったところで、この公演のレポであればこの件について触れない訳にはいかないわけで。

現状、シアターメンバーに関しては全員参加の大きなコンサートもなく、このような発表をファンの前でしようと思うとチーム公演にならざるをえないのは理解するものの、ファンに対して直接告知するのは公演の開催告知までよく、選抜メンバーの発表は必要なかったのではないか。そもそもメンバー

とファンが同時に知る必要も無かったわけで、その辺はメンバーに対する配慮に欠けていたと言わざるをえない。

更に言えばこの日は2回公演なので、夜公演へ影響が出る可能性を考えると、昼公演ではなく夜公演で発表する選択肢もあつたはずだ。

影響という面では、告知をする役目を選抜されていない春日にしたのは最悪だと思う。

ただ、春日はおそらくショックを受けているはずなのに、それを全く見せず、告知、終演後の挨拶、お見送り会と普段と変わらず対応していた。彼女のプロとしての自覚が感じられたのが今回の件で救われた部分の一つではなかったらうか。

さて、各チームから13人選抜して新公演を行うこと自体はとてよい企画だと思う。各チーム、ユニットシャッフル等を行ってスキルアップを計つてはいるものの、基本チーム単位での活動となるので別チームのメンバーと一緒に舞台に立つことはどうしても少なくなってしまう。MCで福田も言っていたように、この企画が劇場全体のスキルアップに繋がることを祈る。

あとがき

褒めていただいたので、調子に乗って架空MC採録本第二弾です。

いかがですかね。そもそも前回書いた2018年7月25日公演っていうのは「Sunshine Rhythm」公演の発表がありそうな日として設定したもので、さすがに公演開始発表まで盛り込むとちょっと收拾がなくなるかなと思つてカットしたのですが、この回もまさにアンコールを書く直前までそのことを忘れて普通に書いていたので、急に手紙が渡されて（作者ながら）驚いている所です。割とマジで。作者が聞いていないぐらいなのでメンバーもあの場で初めて知つて驚いてると思います。

そんなこんなで。次は同じ日の夜公演を書くか、前日のF公演を書くか、はたまたA公演で生誕祭を書くか……。とか言いつつ全然別の日を書くかもしれません。もし次も見たい方がいらっしゃったら反応をしていただけると。舞い上がってまた書くかもしれません。

令和元年11月吉日 佐倉羽織拜

追伸…冬コミ抽選漏れ記念？ として、本作品はWeb初出で公開します。

2018年7月後半の公演スケジュールについて

いつも 765 ライブシアターへの温かいご声援ありがとうございます。

2018年7月16日～2018年7月31日の劇場公演予定を公開致します。

- ・未定の日につきましては決定次第お知らせします。
- ・女性限定公演につきましては、全枠、同伴者も含めて女性に限定させていただきます。また、ファミリー枠、小中学生枠については募集いたしませんのでご注意ください。

なお、演目・開演時間はあくまでも予定となる為、変更となる場合がございますことを予めご了承ください。

7/16(月・祝)	チーム F「FairyTale じゃいられない公演」13:00 / 18:00
7/17(火)	チーム A「Angelic Parade ♪ 公演」18:00 (女性限定公演)
7/18(水)	チーム P「Princess Be Ambitious!! 公演」18:00
7/19(木)	チーム F「FairyTale じゃいられない公演」18:00
7/20(金)	ロビー公開・物販日
7/21(土)	チーム A「Angelic Parade ♪ 公演」13:00 / 18:00
7/22(日)	チーム P「Princess Be Ambitious!! 公演」13:00 / 18:00
7/23(月)	チーム F「FairyTale じゃいられない公演」舞浜歩生誕祭 18:00
7/24(火)	チーム A「Angelic Parade ♪ 公演」18:00
7/25(水)	チーム P「Princess Be Ambitious!! 公演」18:00
7/26(木)	未定
7/27(金)	未定
7/28(土)	未定
7/29(日)	未定
7/30(月)	チーム A「Angelic Parade ♪ 公演」伊吹翼生誕祭 18:00
7/31(火)	休館日

劇場公演へのご応募・当日券の申し込みは 765 プロチケットセンターで受け付けております。

なおご応募状況により当日券が発売されない場合もございますので事前のご応募をお勧めします。

皆様のご応募・ご来場、心よりお待ちしております。

2018年7月26日～29日の公演スケジュールについて

いつも 765 ライブシアターへの温かいご声援ありがとうございます。

大変お待たせいたしました。未定となっております

2018年7月25日～2018年7月29日の劇場公演予定を公開致します。

なお、演目・開演時間はあくまでも予定となる為、変更となる場合がございますことを予めご了承ください。

7/26(木)	休館日
7/27(金)	チーム F「FairyTale じゃいられない公演」
7/28(土)	チーム P「Princess Be Ambitious!! 公演」13:00 / 18:00

7/29(日) 休館日

また遅れていた7/27(金)の遠方枠の申し込みについて、以下の日程とさせていただきます。

遠方枠募集期間 7/16 00:00-20:00
遠方枠当落通知 7/17 23:00 までに通知

※FC枠、女性枠、ファミリー枠、小中学生枠の募集、及び7/28の公演の全枠については通常通りで変更ありません。

劇場公演へのご応募・当日券の申し込みは765プロチケットセンターで受け付けております。
なおご応募状況により当日券が発売されない場合もございますので事前のご応募をお勧めします。

皆様のご応募・ご来場、心よりお待ちしております。

2018年7月25日公演スケジュール

いつも765ライブシアターへの温かいご声援ありがとうございます。

2018年7月25日(水)の公演情報をお知らせ致します。

なお、公演スケジュール、出演メンバーは変更となる可能性がございます。予めご了承ください。

●2018年7月25日(水) 開場 17:30/開演 18:00

チームP「Princess Be Ambitious!! 公演」

※開場とは、入場抽選の開始時間となります。
※ロビー開放時間は14:00です。

■チケット料金

- 一般男性：3,100円
- 一般女性／小中高校生：2,100円
- 未就学児：無料

※未就学児1名に付き一般の方(成人以上)1名の付き添いが必要となります。ただし、お席が必要な場合は有料となります。

※高校生男性のお客様につきましては、学生証の提示がない場合、一般男性料金となります。

■出演メンバー

エミリー・春日未来・高坂海美・佐竹美奈子・高山紗代子・田中琴葉・徳川まつり・中谷育・七尾百合子・福田のり子・松田亜利沙・矢吹可奈・横山奈緒

劇場公演へのご応募・当日券の申し込みは 765 プロチケットセンターで受け付けております。

なおご応募状況により当日券が発売されない場合もございますので事前のご応募をお勧めします。

皆様のご応募お待ちしております。

出演メンバー変更のお知らせ

いつも 765 ライブシアターへの温かいご声援ありがとうございます。

田中琴葉ですが、数日前より体調不良を訴えておりました。本日病院にて、医師より安静にするようにとの指示を受けましたため、下記出演予定の劇場公演に関して、メンバー変更となります。

急遽、休演となりましたこと、また、直前のお知らせになりましたことを深くお詫び申し上げます。

2018年7月25日(水)

チームP「Princess Be Ambitious!! 公演」18:00 公演

【休演】田中琴葉

【出演】周防桃子

何卒、ご了承いただきますよう宜しくお願い申し上げます

奥付

765ライブシアター 公演記録2018年7月28日P公演

2019年11月2日 WEB版発行

筆者 佐倉羽織

発行者 佐倉羽織 (マドカミ町奇譚)

<http://circle.fairies.jp/>

装丁 松城 慧 (桜月奇譚)

印刷所 あなたのプリンター

乱丁・落丁本については自己責任ですので、印刷した人が対応してください。



